

スポット調査結果の評価別集計

資料 1 - 3 (1)

表 1. 2011年のランク評価と2018-23年ランク評価（合計得点にもとづく）によって分類されるランク別スポット数（未調査スポットを含む）

2011年ランク	2018-23年合計得点によって修正されたランク							総計
	A	B	C	D	ランク外	情報不足	未調査	
A	2	0	0	0	0	0	1	3
B	<u>3</u>	<u>14</u>	<u>2</u>	0	0	0	8	27
C	<u>3</u>	10	<u>50</u>	<u>7</u>	<u>5</u>	1	18	94
D	0	0	<u>0</u>	0	0	0	5	5
総計	<u>8</u>	<u>24</u>	<u>52</u>	<u>7</u>	<u>5</u>	1	32	129

表 2. 2018-23年に調査されたスポットの保全の現況評価（合計得点にもとづいたランク別）

現況評価区分	2018-23年ランク（合計得点による）							総計
	A	B	C	D	ランク外	情報不足		
維持	<u>6</u>	<u>15</u>	<u>14</u>	0	0	0	35	
おおむね維持	2	<u>7</u>	<u>26</u>	0	0	0	<u>35</u>	
維持+おおむね維持 集計	<u>8</u>	<u>22</u>	<u>40</u>	0	0	0	<u>70</u>	
劣化	0	2	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>0</u>	0	<u>18</u>	
変質	0	0	3	0	0	1	4	
消失	0	0	0	<u>0</u>	<u>5</u>	0	<u>5</u>	
劣化+変質+消失 集計	0	2	12	<u>7</u>	<u>5</u>	1	<u>27</u>	
総計	<u>8</u>	<u>24</u>	<u>52</u>	<u>7</u>	<u>5</u>	1	97	

表 3. 貴重な小生体系（スポット）の全数、2018-2023年の調査数および劣化・消失・変質の要因。

スポットの数	小生体系の種類								合計
	ため池	社寺林	河川	孤立二次林	湿原	放棄水田	岩角地	六甲山地	
全スポット数	59	28	18	11	8	2	2	1	129
調査スポット数 (2018-2021年)	55	18	15	1	5	1	2	0	97
維持・おおむね維持と判定されたスポット数	38	14	<u>11</u>	1	4	-	2	-	<u>70</u>
劣化・消失・変質と判定されたスポット数	17	4	<u>4</u>	-	1	1	-	-	<u>27</u>
劣化・消失・変質の要因									
① 開発改変（第1の危機）	1	1	<u>4*</u>	-	0	1*	-	-	<u>7</u>
② 人間活動の縮小（第2の危機）	13*	0	0	-	1	-	-	-	14
③ 外来生物（第3の危機）	3*	0	0	-	0	-	-	-	3
④ 気候変動（第4の危機）	0	0	0	-	0	-	-	-	0
⑤ 野生生物	1*	0	1*	-	0	1*	-	-	3
⑥ その他	1	3	0	-	0	-	-	-	4
①~⑥ 合計	19*	4	<u>5</u>	-	1	2	-	-	<u>31</u>

* ため池 複数の要因が該当するスポットのデータ（No.9の1か所）を含むためスポット数とは一致しない

* 河川 複数の要因が該当するスポットのデータ（No.124の1か所）を含むためスポット数とは一致しない。（野生動物は△）

* 放棄水田 複数の要因が該当するスポットのデータ（No.103の1か所）を含むためスポット数とは一致しない。（野生動物は△）

表4. スポットごとの現況評価、保全上の課題および求められる対策のまとめ。

現況評価区分	小生体系	スポットNo.	(要因) 課題の内容
維持 または おおむね維持	[ため池]	6, 7, 11, 13, 14, 15, 19, 21, 26, 31, 32, 34, 40, 44, 54, 55, 56, 59, 60, 82, 133, 125	大きな変化はないなどの記述。
	[湿原]	43, 53	
	[社寺林]	47, 48, 51, 57, 85, 86, 87, 88, 97, 98, 122	
	[岩角地]	52, 116	
	[河川]	90, 104, 126, 134	
	[ため池]	5, 24, 27, 28, 29, 30, 41, 42, 61	希少種あり。人の手が入っておらず（高齢化含む）、管理不足。
	[社寺林]	93	
	[ため池]	22	外来生物の侵入が見られる。
	[ため池]	25, 62, 128, 130	希少種あり。外来生物の侵入が見られる。
	[河川]	132	
	[河川]	50, 63, 80	希少種あり。
	[河川]	89	希少種あり。イノシシ、ヌートリア
	[河川]	64	イノシシ、シカ、アライグマ
	[河川]	108	自然環境は良好。イノシシ被害。
	[ため池]	123	景観は落ち着く イノシシ、シカ、アライグマ
	[ため池]	17	管理されており希少種も多く良好な環境が保たれている
	[湿原]	67	良好な状態
	[社寺林]	99	良好な状態
	[社寺林]	83	保護樹林。境内の緑地は保全されている
[孤立二次林]	119	維持されている。	
[湿原]	68	希少種あり。ニホンジカの分布拡大、ナラ枯れの放置あり。	
劣化	[社寺林]	8	(その他) カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害。
	[ため池]	9	(管理不足・外来生物・野生生物) ため池としての利用が放棄されている。外来生物の侵入、鹿の食害もあり
	[ため池]	12, 35, 39, 129	(管理不足) ため池としての利用が放棄されている。このままではますます劣化。
	[ため池]	16	(管理不足) 周辺林の繁茂により日照不足で生物多様性が低下(管理不足)。
	[社寺林]	20	(開発改変) 道路拡幅工事によりヒノキモミ群落が消滅し点数が下がったが、希少種が残っている。
	[ため池]	38	(その他) 土木工事の跡が新しい
	[社寺林]	46	(その他) 動物・昆虫散見できない。
	[ため池]	49	(開発改変) 周辺の宅地開発による自然環境の激減
	[河川]	92	(開発改変) 河川改修が行われ、8割近くが三面張りとなった
	[社寺林]	100	(その他) 昆虫を見つけられず。
	[河川]	105	(開発改変) 河川改修で半分がなくなる。時間とともに復元の見込みあり
	[河川]	118	(開発改変) 大きく改変され、かつての植物は消失している。
	[ため池]	121	(外来生物) 外来生物の侵入が見られる。
	[河川]	124	(開発改変、野生生物) 希少種確認できず。イノシシ、シカ
[ため池]	131	(外来生物) 外来生物の侵入が見られる。(希少生物が減少しており、スポットとして適当か将来的に検討を要する。)	
変質	[ため池]	1, 37	(管理不足) ため池としての機能は失われているが、希少種が見られ保全に値するスポット。
	[ため池]	3	(管理不足) ため池としての機能は失われているが、間伐等を行えば湧水湿原として生物多様性の向上が可能。
	[湿原]	58	(管理不足) 荒れている。倒木などあり
消失	[ため池]	2, 4, 36	(管理不足) 消失しており復元は見込めない。
	[ため池]	33	(管理不足) ため池としては消失しているが、横の池には希少種がある。
	[放置水田]	103	(開発改変・野生生物) 耕地改善で放置水田がなくなる。イノシシ、シカ(間き取り)の出現